

第1学年 教科(社会科) 単元名「世界各国の調査」

●単元目標

- (1) 調査活動を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解する。
- (2) 対象となる国について、主題への適切なまとめとなるように多面的・多角的に考察し、表現する。

●指導計画(全6時間扱い)

【第1時】■プレゼンのテーマや方法について知ろう!

- ・調査活動を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解する。

【夏季休業中の課題】■よりよいプレゼン資料を考えよう!

- ・対象となる国について、主題への適切なまとめとなるように多面的・多角的に考察する。

＜指導の個別化＞

【第2～5時】■プレゼンしよう!

- ・対象となる国について、主題への適切なまとめとなるように考察したことを表現する。

＜学習の個性化＞

【第6時】■プレゼンを振り返ろう!

- ・調査活動を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解する。

＜協働的な学び＞

●単元における個別最適な学びと協働的な学びの具体化

個別最適な学び

＜指導の個別化＞

- ・調査の方法を自ら選択させることで、生徒に応じて異なる方法で学習を進めることができるようにする。

(インターネットの活用、図書館の利用、インタビュー調査等)

＜学習の個性化＞

- ・対象となる国を生徒の興味・関心に基づいて設定させることで、学習を深め、広げることができるようにする。

協働的な学び

＜協働的な学び＞

- ・よいプレゼンの条件について、話し合いをさせることで、異なる考え方を組み合わせ、よりよい学びを生み出すことができるようにする。

●個別最適な学びと協働的な学びの学習活動に応じたICTの活用

- ・プレゼンテーションソフトウェア(Googleスライド)

ICT端末を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」指導略案

社会科(地理的分野)

指導者 山浦 龍太郎

クラス 1年●組

1. 単元名 「世界各国の調査」

2. 授業のねらい

- 対象となる国について、主題への適切なまとめとなるように考察したことを表現する。

3. 指導過程

学習活動	指導上の工夫・留意点	学習活動の観点 (個別化・個性化・協働)
【導入】 ・本時の見通しをもつ。	・本時の見通しを説明する。	
【展開】 ・「旅行プラン」について、プレゼンテーションを行う。 ・他者のプレゼンテーションの評価をする。	・1人当たりの持ち時間は3分以内とする。 ・順番はくじで決定する。 ・プレゼンテーションには、プレゼンテーション ソフトウェア(Google スライド)を用いる。 ・評価の視点を提示する。 ■プレゼンテーション活動において、教員は必要最低限の関わりにし、生徒 が主体的に活動できるようにする。	・学習の個性化
【まとめ】 ・教員からのコメントを聞く。	・他の模範となる生徒のプレゼンテーションについてコメントする。その 際、次時以降のプレゼン テーションの参考となる ようなコメントになるよ うに留意する。	

※どの場面で、どのアプリケーションを利用するのかが分かるように記述してください。

4. 参考資料(使うアプリケーションや画面等)等

プレゼンテーションソフトウェア(Googleスライド)